

第6回 IEEJ/APERC国際エネルギーインポジウム 開催のご案内

－カーボンニュートラル：世界にとって何を意味するのか？－

平素より大変お世話になっております。

Covid-19 の長期化・深刻化にする中で、エネルギー・環境に係る情勢はますます混迷を深めています。一方で、より多くの国が気候変動への対応を本格化しており、EU 主要国に続き、中国、日本、韓国等が今世紀半ばのカーボンニュートラル目標を表明しました。米国新政権も同様の宣言をすると予想されており、先進国間の議論は、2050 年のカーボンニュートラルをいかに達成するか、すなわち方法論にシフトしております。

一方、アジアの途上国等は、気候変動より、経済成長や教育を重視しており、再エネ、原子力といった非化石エネルギーだけでは高コストであり、化石燃料の脱炭素化など革新的技術開発が低コストで実現可能かどうかに関心を寄せております。また、中東諸国は、経済の多角化へ努力を重ねているものの、化石燃料の脱炭素化による化石燃料の継続利用に大いなる関心を持っております。

今回は、次の課題での海外の専門家との議論を通じて、カーボンニュートラル実現の方法論に焦点を当てながら、カーボンニュートラルがアジアの途上国、そして中東情勢に与える影響について多角的な視座をご提供します。

- 世界は、カーボンニュートラルを実現できるか？
- 途上国は、カーボンニュートラルと経済成長を両立できるのか？
- 中東は、世界のカーボンニュートラルにどう対応するのか？

そこで、弊所は、一般財団法人アジア太平洋エネルギー研究センター(APERC)と合同で、昨年に引き続き、国際シンポジウムを共催し、こういった課題について議論いたします。本シンポジウムでは、3つのセッションを設け、海外の専門家（弊所の特別客員研究員等）を招聘し、弊所の研究者とともに、講演とパネルディスカッションを行い、質疑応答も予定しております（日英同時通訳付き）。加えて、経済産業省資源エネルギー庁長官による特別講演も設けます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時：2021年4月23日（金）9:00-10:25 および 15:00-18:25（日本標準時（JST））
09:00-10:25 開会挨拶、セッション1
15:00-18:25 特別講演、セッション2、セッション3、閉会挨拶
※海外各地の専門家との時差を勘案し、このような2部構成としております。
2. 開催方法：オンライン形式（ソフト：Zoom）
3. テーマ：「カーボンニュートラル：世界にとって何を意味するのか？」
4. 内容：次ページのとおり
5. 使用言語：日本語 / 英語（同時通訳付き）
6. 参加対象：賛助会員
7. 参加費：無料
8. 申込方法：下記 URL より、ご登録をお願いいたします。
http://eneken.ieej.or.jp/seminar/event_login.php
締切…2021年4月20日（火）※ 定員を超えた場合は締め切り前でも募集を打ち切らせていただくことがあります。

お問い合わせ先：一般財団法人日本エネルギー経済研究所 企画事業ユニット総合企画グループ
TEL 03-5547-0211 FAX 03-5547-0223 Email: ieej-mail@tky.ieej.or.jp

プログラム（日本標準時） * 当研究所の特別客員研究員

9:00-9:10	開会挨拶	(一財) 日本エネルギー経済研究所 理事長 豊田 正和
9:10-10:25 講演 9:10-9:40 パネルディスカッション 9:40-10:25	セッション 1 世界は、カーボンニュートラルを実現できるか？ ➤ 今世紀半ばまでにカーボンニュートラルを実現できる可能性をどうみるか？ ➤ カーボンニュートラル実現のためのボトルネックを解消するため、政府、企業など各アクターは、今、何をしないといけないか？	司会 (一財) 日本エネルギー経済研究所 理事 工藤 拓毅 講演・パネリスト 米 ライス大学ベーカー研究所 シニアダイレクター ケン・メドロック* 加 カナダエネルギー研究所 プрезидент & CEO アラン・フォグウィル 中 北京大学エネルギー研究所 気候変動・エネルギー転換プログラム シニアアドバイザー フチヤン・ヤン

15:00-15:30	特別講演 エネルギー基本計画の改定に向けた検討状況 経済産業省資源エネルギー庁 長官 保坂 伸	
15:30 -16:45 講演 15:30-16:00 パネルディスカッション 16:00-16:45	セッション 2 途上国は、カーボンニュートラルと経済成長を両立できるのか？ ➤ カーボンニュートラルは、途上国にとって単なる足かせか。 ➤ 経済成長と両立させるには、何が必要か。脱炭素技術か。先進国の理解か。	
	司会 (一財) 日本エネルギー経済研究所 常務理事 山下 ゆかり 講演・パネリスト 前シェル・インターナショナル首席エネルギーアドバイザー ウィム・トーマス* 泰 前タイエネルギー相 現タイエネルギー省 大臣顧問 シリ・チラポンパン 奥 國際応用システム分析研究所 副所長 リーナ・スリバスタバ	
16:45-17:00	休憩	
17:00-18:15 講演 17:00 -17:30 パネルディスカッション 17:30-18:15	セッション 3 中東は、世界のカーボンニュートラルにどう対応するのか？ ➤ カーボンニュートラルが中東情勢に与える影響をどうみるか。 ➤ 世界がカーボンニュートラルに向かうなか、今の中東情勢の安定化のための課題は何か。	
	司会 (一財) 日本エネルギー経済研究所 専務理事 首席研究員 小山 堅 講演・パネリスト 英 王立国際問題研究所 特別上席フェロー ポール・スティーブンス* 前国際通貨基金 中東・中央アジア部門 アドバイザー ラジャー・マルズーキー ¹ 前クウェート科学振興財団 事務局長 アドナン・シハブエルデイン	
18:15-18:25	閉会挨拶	(一財) アジア太平洋エネルギー研究センター 代表理事・所長 入江 一友

※ プログラムは変更となる可能性がございます。変更があった場合はホームページ上でご案内を差し上げます。